

〈解答〉

- ① 1 かか 2 やつかい 3 そつちよく
 4 対照 5 携 6 拾
- ② 1 ア 2 ア 3 エ 4 ウ 5 イ

配点 各1点 11点満点

〈解説〉

- ①
- 1 「抱」の訓読みは「いだ(く)・だ(く)」もある。音読みは「ホウ」で、介抱・抱負・辛抱などの熟語がある。「頭を抱える」とは「どうしてよいかわからず考えこむ」という意味の慣用句である。
 - 2 「厄」の音読みは「ヤク」である。
 - 3 「率」の音読みは「リツ」もあり、訓読みは「ひき(いる)」である。「直」の音読みは「ジキ」もあり、訓読みは「ただ(ちに)」「なお(す)・なお(る)」である。
 - 4 「対」の音読みは「ツイ」もある。「照」の訓読みは「て(る)・て(らす)・て(れる)」である。「対照」の同音異義語である「対象」「対称」との使い分けには注意が必要である。
 - 5 「携」の音読みは「ケイ」で、携帯・提携・連携などの熟語がある。
 - ② 6 「拾」の音読みは「シユウ・ジュウ」で、拾得・收拾などの熟語がある。
 - 1 「眠ることができる」で可能の意味である。アは可能、イは自発、ウは尊敬、エは受身である。
 - 2 「降る(終止形)＋そうだ」で伝聞の意味である。「降り(連用形)＋そうだ」であれば様態の意味となる。アは伝聞、イウエは様態である。
 - 3 推定を示す「らしい」を選ぶ。アイウは形容詞「春らしい」「すばらしい」「女らしい」の一部、エは推定を示す「らしい」である。
 - 4 断定を示す「だ」を選ぶ。アは助動詞「ようだ」の一部、イのもととは過去を示す「た」、ウは断定を示す「だ」、エは形容動詞「不便だ」の一部である。
 - 5 不確実な断定を示すものを選ぶ。アエは比況(たとえ)、イは不確実な断定、ウは例示を示している。